



ポンチカップリムセ（小鳥の踊り）

[あいぬこしきぶよう]

アイヌ古式舞踊

信仰・芸能・生活と結びつく

アイヌ古式舞踊は、北海道一円に居住しているアイヌの人々によって伝承されてきた芸能史的価値の高い舞踊で、アイヌ独自の信仰と芸能と生活が密接に結びついているところに特色がある。

昭和59（1984）年1月21日付で、「北海道アイヌ古式舞踊連合保存会」を保護団体として、国の重要無形民俗文化財に指定され、道内8団体が保護団体を構成する団体として指定を受けていた。

平成6（1994）年12月21日には、札幌ウポポ保存会を含む9団体が構成団体として追加され、合計17団体（構成団体）となったものである。

石狩地方のウポポ・リムセを伝承

保存会が伝承する曲目や舞い方は、地域独特のものが含まれ、それぞれ特色を持っている。札幌ウポポ保存会ではリムセ（輪舞）12種類、ウポポ（座り歌）9種類の演目を伝承している。また、石狩地方のウポポ・リムセの調査・研究と、石狩川筋に伝わるウポポ・リムセを伊澤コヤエフチから受け継ぎ、札幌独自のアイヌ古式舞踊を伝承・保存している。



ウポポ（座り歌）

語句解説

- ・ウポポ 座り歌
- ・リムセ 輪舞
- ・ノミ 儀式
- ・エカシ・フチ 長老
- ・アシリチュップ 新しい鮈

主な伝承演目

- ポンチカップリムセ（小鳥の踊り）
 - フチトノト（酒運びの踊り）
 - トノソロバ（酒造りの踊り）
 - ハンロー（大地を踏みしめる踊り）
 - チロンヌプリムセ（狐の踊り）
- など12種類、ウポポ（座り歌）は9種類の演目を伝承している

● 保護団体名

札幌ウポポ保存会

● 保護団体指定年月日

平成6（1994）年12月21日

● お問い合わせ

札幌ウポポ保存会事務局 ☎ 090-3391-5022

E-mail sapporoupopohozonkai@gmail.com